

ひがしっ子



下野市立国分寺東小学校
令和2年度 第4号
2020.7.6発行

学校再開から1か月

長い臨時休校期間が明け、学校の教育活動を再開されてから1か月が過ぎました。マスクは外せないものの笑顔と元気な挨拶で一日が始まり、日を追うごとに校内の活気が増えています。一方、学校生活に慣れるに従って、感染予防に対する気の緩みが、児童にも(私を含めて)職員にも感じられることがあります。加えて、これからは暑さも心配です。「学校で、皆で学ぶよさ」と、「コロナ対策」、「熱中症対策」の三立ができるよう努力していかねばなりません。

そのため、基本となる「可能な限りマスク着用」「こまめな手洗い」「3密を避ける」「下校後の消毒作業」を、日々児童・職員と確認し合いながら実行しています。また、各クラスでの指導に加えて、6月11日には「どうして手を洗うの」(手洗いの大切さと上手な手の洗い方)、17日には「校長講話」(コロナウイルスに負けないために)、19日には「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう」(感染の不安に振り回されないようにする)の3つの動画を全児童が校内放送で視聴し、一人一人が感染症に対する正しい知識と心構えが持てるように努めています(3つの動画はホームページの「臨時休業中の学習支援」にアップしてありますのでどうぞご覧ください)。ご家庭におかれましても、「新しい生活様式」を身に付けることについて、お子さんと話し合うとともに、毎日の検温と健康観察、清潔なマスクとハンカチ・ティッシュ、水筒の持参にご協力ください。



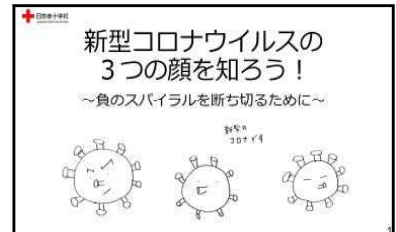
6/11「どうして手を洗うの」

感染症に負けないために

新型コロナウイルスにも
負けない方法は **おなじ!**



6/17「校長講話」



6/19「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう」

6月12日 県民の日ふれあい活動

本校では、毎年6月15日の「県民の日」にちなんで、栃木県への関心を高め、なかよし(縦割り)班のまとまりを深めるために、児童会の企画委員が中心になって「ふれあい活動」を行っています。今年度も、さまざまな制約がある中、企画委員が精一杯がんばって、「県民の日クイズ」そして、中止になってしまった「1年生を迎える会」の意義も込めて、在校生から1年生へのプレゼント贈呈を行いました。そして、班ごとに自己紹介をしたり集合写真を撮ったりしました。今年度になって初めての集会活動でしたが、楽しいひとときになりました。



また、事前のプレゼントづくりや当日の下級生の世話など、上級生が進んで活動する頼もしい姿を見ることができて、とても嬉しく思いました。これからも、「誰かの役に立てることの喜び」をいろいろな機会に感じ取ってほしいと思います。

ネット利用のあたりまえ 4つの大丈夫？

オンラインゲームやテレビゲームのやり過ぎで日常生活が困難になる「ゲーム障害」や「ネット依存」が社会問題となっています。新型コロナウイルス感染症による臨時休校や外出自粛が続いた中で、未成年者を中心に一層深刻な事態に陥っているケースが相談機関等に寄せられています。県内でも、オンラインゲームに夢中になるあまり、生活習慣が大きく乱れて、学校に行けなくなったり、課金(オンラインゲームのプレイヤーが有料アイテムを購入すること)で、高額な請求を受けたりするケースが報告されており、決して他人事ではありません。

「依存」とは、「自分の意思ではやめられない状態」を指しますが、「もう時間だからやめなさい」と声を掛けても、なかなかインターネットやゲームをやめられないお子さんの姿は見られませんか？「やめなさい」という声掛けだけでなく、「やり続けると、自分にどんな問題が起こるか」を考えさせることが大切です。

本日、「ネット利用のあたりまえ 4つの大丈夫？(ダイジェスト版)」を配布いたしました。①「時間」②「内容」③「相手」④「困ったとき」の4つについて、お子さんと一緒に考えながら、家庭内でのネット利用の決まりを再確認してみましょう。

また、「ネット依存」に陥れば、心身の健康を害し、多くの時間と金銭を失うとともに、学業成績の低下や友人関係の悪化などにもつながる恐れがあります。高学年になれば自分の将来についても具体的に考える力が育ってきますので、「ネット依存」が自分の将来に及ぼす悪影響についても、是非お子さんと一緒に話し合ってみてください。

◎「ネットトラブル事例とその予防」(栃木県教育委員会)より

〇〇家 ゲームのルール (例)

ゲームは1日1時間以内にする
ゲームをしない日を週に1日つくる
ゲームをしないときは、家の人にあずける
ゲーム機はリビングで使う
お金のかかるアイテムは買わない
ルールが守れないときは、1週間禁止とする

〇〇家 スマホのルール (例)

1日〇時までにする
〇時以降はスマホの電源を切る
スマホの充電器はリビングに置く
食事中は使用しない
週に1度、保護者が通信内容を確認する

これらのルールを決めた上で、

文章化し、紙に書いて、見えるところに貼っておく

ことによってその効果が上がります。このようなルールを決めた後は、自分で規律を守るように指導することが大切です。

誰もが「自分(の子)は大丈夫」と思うものです。だからこそ、「大丈夫」がずっと続くように、家庭内のルールづくりと日頃の対話、観察そしてアドバイスについて、見つめ直す機会にいただけたら幸いです。

下野市子ども未来プロジェクト
笑顔の輝く未来・あふれる笑顔
～支え合い・わかり合い・心の輪を広げよう～

スマホで、ゲーム機で、パソコンで、タブレットで、わたしたちは当たり前のようにインターネットを利用しています。それとともに、ネットトラブルも増えています。そこで、わたしたちは「インターネットの利用方法の当たり前って何だろう？」と考えました。
家族みんなで意識する「インターネットの利用方法の当たり前」で、安心・安全なインターネット利用を目指します！

ネット利用のあたりまえ
4つの大丈夫？

時間
使うじかんを
家族と決めよう

内容
送る前に確かめよう

相手
信頼できる人を選ぼう

困ったとき
すぐに誰かに相談しよう

下野市4中学校生徒会交流会 下野市PTA連絡協議会 下野市青少年育成市民会議
下野市小中学校長会 下野市教育委員会